

藤（別名 花衣）

藤の盆栽は「一歳藤」とも呼ばれています。当園の品種は三種類、樹齢五十年の藤、三十鉢揃つて咲くのがこの盆栽作りの醍醐味かもしません。

ちょうど一言

「一歳藤」の花を咲くす楽しみは

花房が重ならない様に一枝に多くても二房を目安に残し他の蕾を摘花します。もったいない！

小さな鉢でも大きな花房を付けるので、受け皿にたっぷりと水をやります。

天気が良ければ二～三日で蕾は大きく伸びて見事に咲き、葉が少しづつ成長します。

花が散れば直ちに花を切り取りますが蕾も実の付く花後も、房の根元にある葉を二つ三つ残すと明くる年の花芽に期待をかけれます。

日本の桜草は江戸時代にすでに町衆や武士層が品種改良をして、三百種類以上の伝統園芸植物として育て上げました。

毎年、冬に植え替します、鉢をひっくり返すと昨年の手入れの良さや悪さが分かります。

越冬中の芽を見て、今年は土を少し変えて見ようかと考えながら、花を想像しています。

伝統的な植え方は、一鉢に四芽同じ高さに花が付くように芽を選びますが、何年やつても百点は出ないところが楽しいです。



一才藤（盆栽）4月15日頃



日本のさくら草（江戸時代からの伝統園芸）  
毎年種を蒔いて咲くサクラソウは同じ形・色です。  
中国・朝鮮半島が原産です。



日本桜草花壇 4月20日頃

